■新年一般参賀

■天皇誕生日一般参賀

月刊アムス チャップリン

2019年（平成31年）
1月15日
第34巻1通巻208号
昭和62年5月22日第三種郵便物認可
¥200　1・4・7・10月　15日発行

発行人　株式会社アアムス　〒173-0027東京都板橋区南町62-7スカイコートＫ．１階

新年祝賀・一般参賀

今上天皇平成最後の一般参賀

平成最多の参賀数15万5,000人

陛下希望急遽七回のお出まし

天皇陛下が新年に当たり、人々から祝賀を受ける恒例の一般参賀が一月二日、皇居で行われた。一般参賀には、平成最多の15万4千人が訪れた。当初のお出ましの予定は5回であったが、より多くの人たちに来てもらおうと、1回増やし、更に宮殿に入り切れていない人たちがいることを知り両陛下は、急きょ7回目のお出ましを強く希望された。天皇皇后両陛下が一般参賀で国民の前に姿を見せるのは、4月30日の退位前では今回が最後となる。

天皇陛下お言葉

新年おめでとう。晴れ渡った空の下、皆さんと共に新年を祝うことを誠に喜ばしく思います。本年が少しでも多くの人にとり良き年となるよう願っています。年頭にあたり我が国と世界の人々の安寧と幸せを祈ります。

一般参賀者数

近年の新年一般参賀者数
平成29年9万6千人
平成30年12万6千人
平成31年15万4千人

平成最後の一般参賀に平成最多の参賀者数となった。昨年天皇誕生日の一般参賀と同様遠くからも見えるようにと宮内庁は大型スクリーンを二台設置した。（宮内庁発表）

常陸宮同妃両殿下、高円宮憲仁親王妃殿下、承子女王殿下

皇太子同妃両殿下

秋篠宮同妃両殿下、眞子内親王殿下、佳子内親王殿下妃

三笠宮妃殿下、三笠宮寛仁親王妃殿下、彬子女王殿下

東日本パイロット協会
羽ばたけ東北
災害ボランティア フライヤーズ・レスキュー・チーム
〒989-4504
宮城県栗原市瀬峰小深沢232−1　電話 0228-38-2717

天皇誕生日一般参賀

天皇として最後の誕生日
一般参賀に八万人以上

天皇陛下が平成三十年十二月二十三日八十五歳の誕生日を迎えられた。一般参賀が行われた皇居には、平成で最も多い八万二千人が訪れた。二〇一九年四月に天皇陛下が退位されるため、天皇誕生日に当たっての一般参賀は今回が「平成最後」となる。陛下は、皇后さま、皇太子ご夫妻、秋篠宮ご夫妻、長女の眞子さま、次女の佳子さまと宮殿のベランダに立ち、穏やかな笑顔で、集まった人たちに手を振られた。一般参賀には、秋篠宮ご夫妻の長男・悠仁さまもお忍びで訪れ、参賀を視察された。

天皇陛下お言葉

誕生日にあたり、大勢のみなさんからこのように祝意を受けることを誠に嬉しく思います。今年も残念なことに各地で災害が起こり、これにより家族や親しい人を失い、あるいは被害を受け、今も不自由な生活を送っていることを思い、深く案じています。冬至が過ぎあとわずかで新しい年を迎えます。明けてくる年が皆さんにとり明るい良い年となるよう願っています。皆さんの健康と幸せを祈ります。

左から皇太子同妃両殿下、天皇陛下、皇后陛下、秋篠宮同妃両殿下、眞子内親王殿下、佳子内親王殿下

天皇誕生日一般参賀

12月23日の天皇陛下のお誕生日をお祝いして、祝賀の儀、宴会の儀、茶会の儀、一般参賀の行事が行われた。皇居での天皇誕生日一般参賀は、昭和23年4月29日から始まった。当時は、現在のような天皇皇后両陛下・皇族方のお出ましはなかったが、昭和天皇は、この参賀の様子を庁舎の屋上からご覧になっていた。昭和25年4月29日に庁舎中央玄関上のバルコニーにおいて、昭和天皇・香淳皇后が参賀者の前に初めてお出ましになった。

近年参賀者数は次の通り

平成27年2万6千人
平成28年3万8千人
平成29年5万2千人
平成30年8万2千人

平成最後の天皇誕生日となる今年は平成最多参賀者数となった。宮内庁は、二〇三インチの大型モニターを「長和殿」の左右に一台ずつ導入し、遠くからでも見えるように設置した。（宮内庁発表）

特定非営利活動法人　社会生活促進援護会
山梨県笛吹市一宮町南野呂394番地1号
電話　0553－47－2236